

今回ご登場いただくのは、プロサッカークラブ水戸ホーリーホックの"守護神"ゴールキーパーとして活躍された本間幸司さん。

2024年に29年間の現役生活を終え、新たにクラブリレーションオーガナイザーとして活動されている本間さんに、サッカーや日立市への思いなどについて伺いました。

子どもたちの笑顔が
生まれる街に

本間 幸司さん

日立市出身。元サッカー選手（ゴールキーパー）
1996年 浦和レッドダイヤモンズ 入団
1999年 水戸ホーリーホック 移籍
2000年 Jリーグ初出場（浦和レッドダイヤモンズ戦）
2011年 史上3人目のJ2通算400試合出場達成（ロアッソ熊本戦）
2024年 現役引退（J2最多となる577試合に出場）
2025年 水戸ホーリーホック クラブリレーションオーガナイザー就任
Jリーグ功労選手賞受賞



「現役時代で特に印象に残っていることは？」
特に記憶に残っているのは、東日本大震災の頃ですね。僕たちも被災しましたが、その頃は、みんながなかなか明るい気持ちになれない中で、自分たちは街の復興にどう関わっていけるのか、クラブを通して少しでも街を元気にできないかと考えていました。その頃から、ボランティア活動などを通して地域の皆さんとの繋がりが深まっていき、水戸ホーリーホックの存在を世間に認めてもらえるようになったのかなと感じますね。

また、当時は震災の影響でJリーグの試合が中断されていましたが、被災地でいち早く活動を再開したのは、水戸ホーリーホックだったんです。震災直後で、サッカーをやっている良いのかという葛藤はありましたが、「地元にも少しでも明るいニュースを届けて、みんなの笑顔を取り戻したい」という思いが強かったと思います。

「29年もの現役生活を過ごせた秘訣は？」

まずは、健康な体に育ててくれた両親のお陰です。そして、地元でサッカーをできたことが

大きな原動力になったと思います。仲間や家族が近くにいたことがすごく心の支えにもなりました。

苦しくて辞めようか悩んだり、何度も心が折れそうになったことがありましたが、支えてくれている周りの人たちに恩返しをしたいという思いが、自分に大きな力を与えてくれたんだと思います。

「日立市の思い出の場所は？」

鮎川町に住んでいて海が近かったのが、友達とよく鮎川から川下りをして海に出たり、家族とお弁当を持って、小木津山自然公園で紅葉を見ながらハイキングしたりしましたね。

先日、成沢小学校に行く機会があり、小学生に遠足先を尋ねた時に、今もかみね公園に行っ



©MITO HOLLYHOCK
ゴールキーパーとして活躍した現役時代

ていると聞いてすごく嬉しかったです。当時の思い出は今でも残っていて、大人になってからも、かみね公園に行きたくなる瞬間があるんですね。

子どもができてからは、自分の育った街をしつかり見せてあげたくて、よく実家にも帰るようになりました。かみね公園やかみねレジャーランドには、子どもの頃より、親になってからの方がいっぱい行ってるかもしれないなあ（笑）。

「プロのスポーツ選手に憧れている子どもたちへアドバイスをお願いします。」

「夢はサッカー選手」という小学生に、どんな選手になりたいの？って質問すると、「メッシ！」とか「ネイマール！」って返ってくるんですね。みんな本気で思っていて、それはすごく大事なことだと思うんです。その情熱をいつまで持ち続けられるかが大切だと思いますが、そのためには、まずサッカーをたくさん楽しむことが大事なんです。

ただ、「楽しむ」ということを、ふざけたりすることとは間違えないでほしくて、一生懸命に取り組んだ先にある楽しさを見つ

けてほしいと思っています。

プロの選手には、元からすごい選手もいるけど、意外とそんな選手ばかりじゃないんです。中学や高校であまり試合に出られなかった人でも、今はプロの世界で活躍している選手はたくさんいるんです。

だから、今が上手いかわからないとか、試合に出られないかわらなくて、自分の可能性を自分で諦めるようなことはせずに続けてほしいと思っています。諦めずに続けた先には、素晴らしい世界が待っているよって約束できます！

「最後に、市民の皆さんへメッセージをお願いします。」

日立市は僕の礎となった街なので、本当に感謝しています。現役を引退してからは、日立に帰る



市内の小学生と笑顔で交流

J2 優勝 & J1 昇格決定！

J2 優勝、そして夢の J1 昇格。とんでもないことが起きました！奇跡って起きるんですね！日立市の皆さんにも、たくさんの応援とパワーをいただきました。ありがとうございました！

来シーズンからは、鹿島アントラーズとの茨城ダービーもあります。たくさんの方楽しんでもらえるよう、がんばります！

ことが増えていきますし、日立で活動することも多くなっているのので、見かけたら気軽に声を掛けていただけると嬉しいです。

地元への恩返しとして、サッカー教室などを通じて子どもたちと触れ合うことが多いですが、みんなの笑顔にいつも励まされています。あの素晴らしい笑顔が、たくさん生まれる街にしていきたいですね。



市プロモーションサイトではインタビューの全文を配信中！

応援ありがとうございました！

